

編集後記

「笹沼澄子先生、逝かれる」

秋が深まる 10 月 25 日に、笹沼澄子先生が逝去されました。先生は非常に安らかなお顔で中実の人生を終えられ、享年 92 歳でした。心よりお悔やみ申し上げます。

皆さんがご存じのように、笹沼澄子先生はわが国の言語聴覚分野を拓かれたパイオニアであり、世界的に高名な研究者です。本分野が今日の発展を迎えることができたのも笹沼澄子先生のお陰であり、先生なくして本分野の歴史を語ることはできません。笹沼澄子先生は言語聴覚士法が成立したときのことを、ある冊子の中で次のように述べています。「1997 年 12 月 12 日、暮の臨時国会でわが国の言語聴覚士の歴史上画期的な出来事が起こりました。40 年余にわたる懸案であった『言語聴覚士法』が遂に成立し、待望の国家資格が法制化されたのです。思えば長く険しい道のりでした。」

笹沼澄子先生は、わが国の言語聴覚専門職の最初の職能団体である日本聴能言語士協会の初代会長(1975 年)であり、言語聴覚士の資格制度の実現に向けて長きにわたって心血を注がれてきました。同時に、言語聴覚療法の質の充実と言語聴覚障害学の発展を願われ、本誌の発刊に際し(2004 年、1 巻 1 号)、寄稿されています。その中に次のような一文があります。「長年の待望であった国家資格化を果たした本領域が、その社会的責任を全うするには、『言語聴覚障害学』本来の科学的・専門的知識の整備・体系化、さらには本領域独自の新たな知識の創出を通して、自らの専門性を強化し発展し続けることが必要でしょう。」

本誌は笹沼澄子先生のお言葉に導かれてここまで歩んできました。今後も、笹沼澄子先生のご遺志を大切に、多様で濃い内容の理論が展開される開かれた学術誌を目指し精進してまいりたいと思います(笹沼澄子先生の追悼文は次号に掲載する予定です)。

今号では、「第 12 回言語聴覚研究優秀論文賞」の選考結果が発表され(受賞者：間藤翔悟氏)、同氏の随想も掲載されています。研究への熱い思いが伝わってくる間藤翔悟氏の随想は読者の研究意欲をかきたててくれるものと思います。第 22 回日本言語聴覚学会における波多野和夫先生の講演「ジャルゴン・再帰性発話・超皮質性失語の症状理解に向けて」は失語症状を理解するための機軸が示されており、興味深く読んでいただけるものと思います。このほか、原著論文 3 編、症例報告 1 編、レポート「現場最前線」1 編が掲載されており、いずれも貴重な知見が報告されています。

(藤田郁代)

編集委員

委員長

藤田 郁代

副委員長

立石 雅子

阿部 晶子

今井 智子

石坂 郁代

内田 信也

宇野 彰

勝木 準

倉内 紀子

倉智 雅子

佐藤 睦子

椎名 英貴

城間 将江

鈴木 恵子

中村 光一

長谷川 賢一

春原 則子

深浦 順一

藤原 百合

水田 秀子

矢守 麻奈

英文要旨の校閲

Gordon BATESON

勝木 準

言語聴覚研究 (第 18 巻 第 4 号) 2021 年 12 月 15 日発行(年 4 回(3, 6, 9, 12 月)15 日発行)

Japanese Journal of Speech, Language, and Hearing Research

1 部定価：2,200 円(本体 2,000 円+税 10%)

2021 年年間購読料：8,250 円(4 冊、税込、送料発売会社負担)

編集・発行：一般社団法人 日本言語聴覚士協会(会長：深浦順一)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-29 アクロポリス東京 9 階

(☎ 03-6280-7628 FAX 03-6280-7629) <http://www.jaslht.or.jp/>

Published by Japanese Association of Speech-Language-Hearing Therapists (JAS), Acropolis Tokyo 9F, 6-29 Shinogawamachi, Shinjuku-ku, Tokyo, 162-0814, Japan

©2021, Printed in Japan

制作・発売：(株)医学書院(代表：金原 俊) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23(振替口座 00170-9-96693 番)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660(FAX 03-3815-7804)

印刷所 (株)アイワード ☎ 011-241-9341(FAX 011-207-6178)

広告申込所 (株)文京メディカル ☎ 03-3817-8036(FAX 03-3817-8044)